

第72回 九州地区英語教育研究大会 鹿児島大会

大会テーマ 新時代の日本人 ～コミュニケーションでつながる英語教育～



期日
令和6年

10月18日金～19日土

会場

1日目

【小・中学校の部】 リナシティかのや
【高等学校の部】 カクイックス交流センター 大ホール
(かごしま県民交流センター)

2日目

【小・中学校の部】 鹿屋市立鹿屋女子高等学校
【高等学校の部】 鹿児島県立鹿児島中央高等学校



【主催】九州地区英語教育研究団体連合会

【主管】鹿児島県高等学校教育研究会英語部会、鹿児島県中学校教育研究会英語部会、鹿児島県小学校外国語活動・外国語科研究会

【後援】鹿児島県教育委員会、鹿児島市教育委員会、鹿屋市教育委員会、鹿児島県私立中学校高等学校協会

第72回 九州地区英語教育研究大会 鹿児島大会

日 時

■ 1日目：全体会

【小・中学校の部】 令和6年10月18日（金）10時00分～16時40分

【高等学校の部】 令和6年10月18日（金）10時00分～15時55分

■ 2日目：分科会

【小・中学校の部】 令和6年10月19日（土）9時20分～12時00分

【高等学校の部】 令和6年10月19日（土）9時20分～12時00分

会 場

■ 1日目：令和6年（2024年）10月18日（金）開会行事／公開授業／講演

【小・中学校の部】 リナシティかのや（鹿児島県鹿屋市大手町1-1）

【高等学校の部】 カクイックス交流センター 大ホール（かごしま県民交流センター 大ホール）
（鹿児島県鹿児島市山下町14-50）

■ 2日目：令和6年（2024年）10月19日（土）分科会

【小・中学校の部】 鹿屋市立鹿屋女子高等学校（鹿児島県鹿屋市西原1-24-35）

【高等学校の部】 鹿児島県立鹿児島中央高等学校（鹿児島県鹿児島市加治屋町10-1）

※ 本大会は、【小・中学校の部】は鹿屋市、【高等学校の部】は鹿児島市と分散開催で実施します。

大会テーマ

「新時代の日本人 ～コミュニケーションでつながる英語教育～」

（テーマ設定理由）

グローバル社会、情報社会、ポストコロナ時代を迎えた今、英語教育においても、日本人として「英語を使って何ができるようになるか」という原点に基づいた学びが求められています。現在、私たちは小学校・中学校・高等学校で、ICT機器の活用や、協働的な体験活動、多様な他者とのコミュニケーション等を意識したさまざまな授業実践に努めています。新たな時代をよりよく生きることができる児童・生徒の育成を目指し、このテーマを設定しました。

大会日程

【小・中学校の部】

第1日：10月18日(金)	時 間	第2日：10月19日(土)	時 間
受付	9：15～10：00 (45)	分科会A	9：20～10：30 (70)
開会行事	10：00～10：20 (20)	分科会B	10：50～12：00 (70)
基調講演	10：30～11：50 (80)		
昼食・協賛展示	12：00～13：20 (80)		
公開授業（小学校）	13：20～14：05 (45)		
公開授業（中学校）	14：20～15：10 (50)		
授業研究（小・中学校）	15：25～16：15 (50)		
閉会行事（諸連絡）	16：25～16：40 (15)		

【高等学校の部】

第1日：10月18日(金)	時 間	第2日：10月19日(土)	時 間
受付	9：30～10：00 (30)	分科会A	9：20～10：30 (70)
開会行事	10：00～10：15 (15)	分科会B	10：50～12：00 (70)
基調講演	10：30～12：00 (90)		
昼食・協賛展示	12：00～13：20 (80)		
公開授業（高等学校）	13：30～14：20 (50)		
授業研究（高等学校）	15：00～15：40 (40)		
閉会行事（諸連絡）	15：45～15：55 (10)		

※ 公開授業（高等学校）は、ステージ上では行いません。そのため、参加者が授業を受ける生徒の様子を間近で参観することができます。

公開授業者・司会者・指導助言者

小学校の部	授業者	東 美 里 (鹿屋市立鹿屋小学校教諭)
	司会者	坪山 麻衣子 (鹿屋市立鹿屋小学校日本人英語指導講師JTE)
中学校の部	授業者	森 重 輝 (鹿屋市立吾平小学校教諭)
	司会者	川上 典子 (鹿児島純心大学人間教育学部教授)
	指導助言者	池田 大 恭 (鹿屋市立鹿屋中学校教諭)
高等学校の部	授業者	亀之園 ちえ (鹿屋市立田崎中学校教諭)
	司会者	石原 知 英 (鹿児島大学教育学部准教授)
	指導助言者	脇 久美子 (鹿児島県立甲南高等学校教諭)
		池 夙 弥 生 (鹿児島県立甲南高等学校教諭)
		国 重 徹 (鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系教授)

基 調 講 演

【小・中学校の部】



教師でなく生徒の頭と口が動く英語授業 － A I 時代に対応した英語授業とは－

■ ■ 講 演 者 ■ ■

一般財団法人実用英語推進機構 代表理事

やすこうち てつや
安河内 哲也 氏

(講師プロフィール)

現 職：一般財団法人実用英語推進機構 代表理事、東進ハイスクール英語科講師

専門分野：学校英語教育コンサルティング、企業英語教育コンサルティング、
高校教科書執筆 (My Way 論理表現)、中高生指導

主要著書：

- ・『高校生が感動した英語独習法』(PHP 新書)、2024
- ・『イラストと図と音声でどんどんおぼえる 小学生のための英単語』(Jリサーチ出版) 2023
- ・『勉強法 THE BEST プロが厳選！最強ノウハウ 100』(あさ出版) 2019
- ・『英語の勉強法をはじめからていねいに』(東進ブックス) 2012

そ の 他：

- ・学校法人麹町学園女子 英語科特別顧問
- ・福岡県遠賀郡岡垣町 英語教育アドバイザー・ふるさと大使
- ・情報経営イノベーション専門職大学 客員教授
- ・ICEE (国際コミュニケーション能力検定) 2014 年優勝、2016 年準優勝、2018 年優勝

【高等学校の部】



日本における英語の位置付けと求められる英語力 －コミュニケーション教育としての英語指導－

■ ■ 講 演 者 ■ ■

敬愛大学国際学部国際学科 教授

こうご ひであき
向後 秀明 氏

(講師プロフィール)

現 職：敬愛大学国際学部国際学科教授・英語教育開発センター長、明治大学文学部 (教職課程) 兼任講師

専門分野：英語教育、第二言語習得、英語教育施策

主要著書：

- ・『高等学校学習指導要領 (平成 30 年告示) 解説 外国語編英語編』(共著：文部科学省、2018)
- ・『High School English Lesson Plans 高等学校英語レッスンプラン集』(リンク・インタラック、2018)
- ・『平成 30 年版 学習指導要領改訂のポイント 高等学校外国語 (英語)』(編著：明治図書 2019)
- ・『新学習指導要領が実践できる！ 中学校英語授業パーフェクトガイド』(学陽書房、2019)
- ・『小学校教室英語ハンドブック』(共著：光村図書、2019)
- ・『小学校英語文部科学省検定済教科書 Here We Go! 5・6』(共著：光村図書、2019)
- ・『MEXT COURSE OF STUDY Foreign Languages and Foreign Language Activities』(監修：リンク・インタラック、2020)
- ・『中学校英語文部科学省検定済教科書 Here We Go! 1・2・3』(共著：光村図書、2020)
- ・『中学総合的研究 英語 四訂版』(共著：旺文社、2021)

そ の 他：

- ・パーマー賞 (2007 年、一般財団法人語学教育研究所)
- ・千葉県教育委員会教育奨励賞顕彰 (2008 年、千葉県教育委員会)

分科会発表者一覧

【小・中学校の部】

分科会A（2日目 9：20～10：30）

番号	発表タイトル	校種	担当県	発表者	発表概要
2 A	自律的に資質・能力を身に付けようとする生徒の育成	中	鹿児島	石塚直貴 鹿児島市立伊敷中学校 教諭	単元を貫く到達目標 (Large Task) を設定し、それを達成するまでの学習過程に自由進度学習を意識した時間を設定することについて、県内の複数校で先進的に2年間実践・研究したことをまとめ、発表する。
4 A	主体的に学びに向かい英語で発信しようとする児童生徒の育成～小中連携を基盤とした英語教育をとおして～	中	熊本	佐藤展幸 高森東学園義務教育学校 教諭	令和2年度から阿蘇管内の小中連携の取組を進めてきた。今回は、これまで研究してきた取組や昨年度行われた県大会での授業等について発表する。
6 A	主体的に英語学習に取り組む生徒の育成～パフォーマンス課題を活用したパフォーマンステストの実践を通して～	中	佐賀	岩元正悟 佐賀市立思齊中学校 教諭	各学校でパフォーマンステストを毎学期に実施したり、本市内教師で作成したハンドブックを活用したりしている。さらに、パフォーマンステストで明らかとなった成果と課題について、意見を交換し、授業実践の改善を目指している。
8 A	即興性のある英語力を育成する指導法とその効果	中	宮崎	押領司健史郎 都城市立妻ヶ丘中学校 教諭	即興で自分の考えや気持ちを伝え合う英語力を伸ばすために、4技能をバランスよく指導することで、生徒にどのような変容が見られたか。
9 A	児童が主体的に学び合うことのできる外国語活動・外国語科の授業づくり	小	鹿児島	田尾久美子 薩摩川内市立平佐西小学校 教諭	「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、「児童が主体的に学び合うことのできる授業づくり」を目指し、研究・実践を重ねてきた。複式学級を有する小規模校や大規模校での実践例を紹介する。

分科会B（2日目 10：50～12：00）

番号	発表タイトル	校種	担当県	発表者	発表概要
1 B	表現力の向上を目指して～日常的な表現活動の取組～	中	長崎	永野 恭子 時津町立鳴北中学校 教諭	表現力向上のための「話すこと」におけるペア活動やリアクション練習、「書くこと」におけるまとまりのある文章を書くための手立てについて、町内における日常の取組と外国語大学との交流について紹介する。
3 B	主体的に学び、未来を創造する生徒の育成～効果的な言語活動を取り入れた授業改善の工夫～	中	大分	大塚 慶一郎 竹田市立竹田中学校 教諭	生徒がコミュニケーションの中で英語を使う楽しさを知り、一人ひとりが「わかる・できる・楽しい」授業をめざした。そのために必要な授業における効果的な言語活動の工夫・あり方について、研究に取り組んだ内容を発表する。
5 B	伝え合うことに喜びを感じる子どもを育てる英語科学習指導法	中	福岡	井上 美咲 朝倉市立甘木中学校 教諭	コミュニケーションの場において、キーワードを使って伝えたい内容を構成し、相手と質問したり答えたりしながら目的や場面、状況に応じたやり取りを行い、相手に配慮しながら、互いの情報や考えを伝え合う学習過程についての実践。
7 B	思考力や表現力を育む学習過程の工夫	中	沖縄	前田 安子 名護市立屋部中学校 教諭	自己の課題を考え、広げ、深めるという視点から、生徒同士の相互評価や振り返る学習活動を常活動で取り入れ、主体的に話す、書くことのできる生徒を目指した実践を紹介する。
9 B	小中一貫で取り組むGLOBAL (Think Globally, Act Locally) 人材の育成～「主体的に学習に取り組む態度」の指導改善を通して～	小	鹿児島	牧 久美子 鹿屋市立東原小学校 教諭 前原 千代美 鹿屋市立鹿屋東中学校 教諭	学校・保護者・地域が一体となって、英語を活用しながら、「郷土理解」と「他者貢献」による幸福感を得られるために、「主体的に学習に取り組む態度」の指導と評価の一体化を目指した鹿屋市英語教育圏推進会議の組織的な実践研究の成果と課題をまとめる。

【高等学校の部】

分科会A（2日目 9:20～10:30）

番号	発表タイトル	校種	担当県	発表者	発表概要
1 A	英語で書く力を育成するリテリング活動の授業づくり	高	沖 縄	仲 程 順 一 沖縄県立八重山農林高等学校 教諭	生徒の英語で書く力を育成するため、教科書本文の概要や自分の意見を英語で表現する「書く」リテリング活動を実践した。ピア・フィードバックを通して、ルーブリックを基に情報や考えを整理し、書く活動を促した。
3 A	21世紀の英語力と自律して学ぶ生徒育成を目指して	高	佐 賀	溝 上 裕 也 佐賀県立致遠館高等学校 教諭	「理数科・普通科併用の特徴を生かし、未来社会への文化の創造と発展に力をつくす、科学技術人材・グローバル人材を育成」する、生徒・教師のエンゲージメント理論と実践に基づいた、全ての生徒が最後まで諦めずに英語学習に向かう本校の試みを紹介したい。
5 A	英語ディベートの授業導入について	高	熊 本	芝 二 郎 熊本県立八代高等学校 指導教諭	即興型英語ディベートの授業導入から実際の活用場面、また、ディベートに連動したアクティビティや評価など、八代高等学校での取り組みについて発表する。また、校外のディベート大会へ出場等についても共有する。
7 A	学科の特色や地域の特長を活かした授業実践	高	宮 崎	上 田 俊 一 宮崎県立高千穂高等学校 教諭	本学校は、観光資源に恵まれ、多くの外国人観光客が訪れる地域に所在している。本校では商業系の学科が設置されており、専門科目で培った知識を活用できる授業実践をした。そこで得られた課題や成果を共有したい。

分科会 B (2日目 10:50 ~ 12:00)

番号	発表タイトル	校種	担当県	発表者	発表概要
2 B	CLIL 型授業の実践事例ー探究×英語で発信力強化ー	高	福岡	岡田直也 純真高等学校 教諭	探究、教科横断、TBLT の要素を取り入れた CLIL 型授業の入門編、どの学力層でも主体的に授業に参加し、思考し、協働学習をしたくなる授業設計の実践事例のご紹介。インプットとアウトプットを含んだ双方向型のワークショップとなる。
4 B	生徒のためになる評価を目指して ～ Sustainable で Feasible、かつ Passionate な観点別評価を～	高	長崎	西村双葉 長崎県立長崎北陽台高等学校 教諭	観点別評価の導入から3年目、多くの先生方が手探りで進めてきたのではないだろうか。それぞれの観点を測るためのパフォーマンステストや自主学習課題など、指導と評価の一体を目指した本校での取り組みを紹介する。
6 B	「プロジェクト型学習」の手法を用いた発信力を育成する授業実践	高	大分	高倉圭一 大分県立日田高等学校 指導教諭	英語を使う必然性を作りながら4技能5領域をバランスよく学習できる手段として「プロジェクト型学習」の手法を取り入れている。英語学習を通して社会との繋がりを感じられる授業、教科横断的な授業を目指した取り組みを紹介する。
8 B	「言語の働き」に注目した話すこと（やり取り）の指導実践	高	鹿児島	内園大智 鹿児島県立鹿児島南高等学校 教諭	話すこと（やり取り）が導入されたが、やり取りの指導については授業をするかどうかという悩みも大きい。話すこと（発表）の指導との違いも踏まえて、「言語の働き」に焦点を当てた指導実践の成果や課題について報告する。

申込について

(1) 大会参加費

一般：4,000 円、 小学校関係者：2,000 円、 学生：1,000 円

※大会参加費は大会事務局の依頼により、東武トップツアーズ(株)鹿児島支店が代行収受いたします。

(2) 宿泊のご案内 (東武トップツアーズ(株)鹿児島支店の募集型企画旅行です)

【宿泊プランのご案内】

- 宿泊設定日：令和6年10月17日(木)・10月18日(金) 2泊
- 旅行(宿泊)代金：お一人様あたり1泊朝食付き、税金、サービス料込みの料金です。
- 最少催行人員：1名 添乗員は同行いたしません。

地区	ホテル名	部屋タイプ	旅行(宿泊)代金
鹿児島市内(中央駅)	ホテルタイセイアネックス	洋室シングル	8,700 円
鹿児島市内(天文館)	ホテルサンデイズ鹿児島	洋室シングル	8,400 円
鹿児島市内(天文館)	ホテルレクストン鹿児島	洋室シングル	9,600 円

地区	ホテル名	部屋タイプ	旅行(宿泊)代金
鹿屋市内	ビジネスホテルしらさぎ	洋室シングル	7,900 円
鹿屋市内	ホテル大蔵	洋室シングル	8,700 円
鹿屋市内	KOTOBUKI HOTEL (コトブキホテル)	洋室シングル	9,200 円

- ・朝食が不要な場合でもご返金はできません。
- ・ホテルの予約につきましては、先着順とさせていただきます。
※ご希望に添えない場合がございます。予めご了承ください。
- ・個人勘定及びこれに伴うサービス料金と諸税は各自ご精算願います。
- ・上記の宿泊プランには添乗員は同行いたしません。各宿泊施設でのチェックイン手続きはお客様自身でおこなっていただきます。

(3) お弁当(昼食)のご案内

利用日：令和6年10月18日(金) 1食1,000円(お茶なし・消費税込み)
旅行契約には該当しません。

(4) 申込期間

令和6年6月24日(月)～令和6年9月27日(金)

(5) 申込方法

下記のURLの「大会参加申込専用サイト」へ直接アクセスしてお申込みください。
(インターネットで「第72回九英連鹿児島大会」と検索して頂ければ大会サイトにアクセスでき、お申し込みサイトリンクにアクセスすることができます。)

<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/kyueiren2024kagoshima/>

※ 申込開始日より URL・右記 QR コードを読み込み、お申込みください。

申込開始日までは
ホーム画面以降には
進めません。



(6) 支払のご案内

支払期限：令和6年10月11日（金）

(7) 変更・取消のご案内

お申込み後の予約の変更・取消は、東武トップツアーズ(株)鹿児島支店の営業日・営業時間内にご連絡ください。営業時間外のお申し出については、翌営業日の取扱いとなります。

宿泊については、申込泊数分が1つの募集型企画旅行となりますので、契約成立以降に解除される場合は、合計旅行代金に対して下記の取消料を申し受けます。

なお、旅行開始後のお取消については100%の取消料を申し受けることとなり返金はありません。

〈宿泊の取消料〉

取消日	旅行開始日の前日からさかのぼって		旅行開始日 前日の解除	旅行開始日 当日の解除	旅行開始後 または無連絡不参加
	8日前まで	7日前～2日前まで			
取消料	無料	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行料金の100%

宿泊当日15時までに当支店又は宿泊施設に取消の連絡がない場合は無連絡不参加として取り扱い、100%の取消料を申し受けます。

〈お弁当の取消料〉

取消日	10月8日（火）より
取消料	100%

お申込み方法（参加の皆様へ）

- ①大会参加はすべて事前予約制です。この「大会要項」の（5）「大会申込専用サイト」に必要事項をご入力の上、お申込みください。
- ②宿泊については、「大会申込専用サイト」内の旅行条件書を予めご確認の上、お申込みください。
- ③申込み締切は9月27日（金）です。
- ④宿泊については、本書「宿泊のご案内」および「取消料」、「大会申込専用サイト」内の「募集要項」をご参照の上、お申込みください。
- ⑤昼食用のお弁当をご用意しております。お弁当の当日販売は致しませんので、必ず事前にお申込みください。
- ⑥大会参加費につきましては、お申込み後の返金できません。

個人情報の取り扱い

お申込みの際にお申込書にご記入いただいたお客様の個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス等）につきましては、参加者登録、お客様との連絡、今大会における運送・宿泊機関等の提供するサービス手配や手続に必要な範囲内において、東武トップツアーズ(株)鹿児島支店および大会事務局が共同して利用させていただきます。その他、個人情報の取り扱いにつきましては旅行条件説明書に明記しております。お申込みにあたっては必ず内容をご確認・ご同意の上、ご記入いただきますようお願いいたします。

東武トップツアーズ(株)鹿児島支店 顧客個人情報取扱管理者 本田英治

【会場へのアクセス】

できる限り公共交通機関をご利用ください。大会1日目の会場駐車場は、各会場の公式ホームページでご確認ください。大会2日目の会場は学校敷地内の駐車場をご利用になれません。



【高等学校の部】 鹿児島市
※大会1日目会場：カクイックス交流センター 鹿児島市電「水族館口電停」下車 徒歩4分 JR「鹿児島駅」下車 徒歩10分 バス「水族館口」下車 徒歩5分
※大会2日目会場：県立鹿児島中央高等学校 鹿児島市電「加治屋町電停」下車 徒歩3分 JR「鹿児島中央駅」下車 徒歩16分 バス「加治屋町」下車 徒歩4分
【小・中学校の部】 鹿屋市
※鹿児島市から鹿屋市までのアクセス JR「鹿児島中央駅」から「鴨池港」へバス約20分→「鴨池港」から垂水フェリー約40分→「垂水港」から「鹿屋」までバス約40分
※大会1日目会場：リナシティかのや バス「鹿屋」下車 徒歩2分 バス「リナシティかのや」下車 徒歩1分
※大会2日目会場：市立鹿屋女子高等学校 バス「鹿屋女子校前」下車 徒歩1分

※ 鹿児島市から鹿屋市へは、シャトルバスを運行予定です。参加者には後日連絡致します。

【大会申込に関するお問い合わせ】

東武トップツアーズ株式会社 鹿児島支店

鹿児島市中央町 26-1 南国アネックスビル 4階

TEL : 050-9001-9776 / FAX : 099-257-0115

E-Mail : shunichi_yamamoto@tobutoptours.co.jp 担当：山本 俊一

総合旅行業務取扱管理者：本田 英治

【大会に関するお問い合わせ】

大会全般及び小・中学校の部に関すること

大会実行委員長 牧 俊 輔

〒 890-0065

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目 20 番 35 号

鹿児島大学教育学部附属中学校

TEL : 099 (285) 7932

E-mail : s.maki@edu.kagoshima-u.ac.jp

高等学校の部に関すること

大会副実行委員長 生 駒 真 也

〒 892-0846

鹿児島県鹿児島市加治屋町 10 - 1

鹿児島県立鹿児島中央高等学校

TEL : 099 (226) 1574

E-mail : ikoma-shinya@edu.pref.kagoshima.jp